

第2回学校評議員会(2/17)において、評議員の方々並びに粕谷 PTA 会長より、以下のような提言や質問、感想をいただきました。改善方策や次年度の目標等の設定に活用していきます。(抜粋または一部省略)

項目	評 議 員 様 か ら の 提 言 ・ 質 問 ・ 感 想
児童生徒指導	・新学習指導要領の内容に基づいて、障害者も地域に出て、地域と交わり、地域の中で暮らしていく、地域に出て行く力を付けていく必要がある。 ・地域の中学生はスクールバスで通学しているが、本校の中高生は大金駅から歩いて通学している。最初は「大変だな、かわいそうだな」と思っていたが、社会に出るための学習をしているのだと分かった。 ・本校の生徒はとても頑張り屋で、良いところのある子も多い。子どもの良いところを伸ばしていくことが大切である。 ・本校の指導は社会に出て行く自立の視点に重きを置いていると感じた。今後も関係機関や関係者との連携を深めていって欲しい。 ・優しさも愛情、厳しさも愛情。それを受け入れられる心を作っていって欲しい。 ・先生方は意識が高く、モラルやマナーを守り、言葉遣いなど、丁寧に対応している。
進路指導部	・自分で歩いて通ってくる子は体力が違う。歩いて通うと、到着時刻から逆算して何時に起きて出発するといことが身に付いてくる。一般就労に向けての大きな力になると感じる。 ・本校はすばらしい就職率である。遠方地区でのグループホームを利用した就労の状況もある。 →本校は施設生が多く、生徒の生活の場の確保を第一に考えている。グループホームが決定した後、就職先を見つけている。最近では子どもの自立を考えて、自宅から通学している場合でも、グループホームを利用したいという家庭が増えている。 ・一般就労を考えると、企業は学校の先生方のような優しく丁寧な関わり方だけではない。時には厳しくされることもある。一般就労に耐えうる免疫力を付けていく必要がある。
働き方改革	・年度当初より超過勤務が減っているのは努力の成果である。 ・家に持ち帰るの仕事量、内容等についても把握した方が良い。 ・先生達が疲れることは子どもを預ける保護者も困ることであり、家庭と学校がお互いうまくバランスを取ることが大切である。働き方改革には、地域や保護者も含めて責任がある。 ・勤務時間外の電話対応で困ることはないか？ → 現在のところ、特に問題となるようなことはない。休日の電話は対応しないようにしている。 ・企業では超過勤務の多い方には、2・3月で調整して有給休暇のまとめ取りをさせている。その間は社員同士が協力して仕事にあたっている。 ・Teams(パソコンのチャット機能)をうまく活用して会議の削減につながっているのは良い。 ・学校教育はやればいくらでもやれるが、先生がそれを普通と考えていれば改善されない。基本的な考えが変わらないと、意識改革にはならない。いろいろなところから話を聞きながら改善・改革を進めて欲しい。 ・先生としてストレスのかかっていることもあるのではないかと。2ヶ月に1度くらいの心のケアは重要ではないか。心のケアをしながら、よりよい教育をするべき。

学 校 評 価	・教員の自己評価を見ると、言葉遣いや関わり方、指導について評価が悪くなっている。しかし先生方は人権に配慮した、今の時代に求められる指導を意識しているのだと思う。 ・保護者は学校に満足している。先生方は厳しい評価をしている。先生方の意識が高いと感じる。先生方は健康を第一に考えて欲しい。保護者は安心して預けている。
そ の 他	・地域たより等は部数によっては自校印刷より、地域の印刷会社を活用した方が安い場合もある。 ・この学校はいつ来ても事務所や教員の笑顔がすばらしい。生徒は先生方の背中を見ている。